

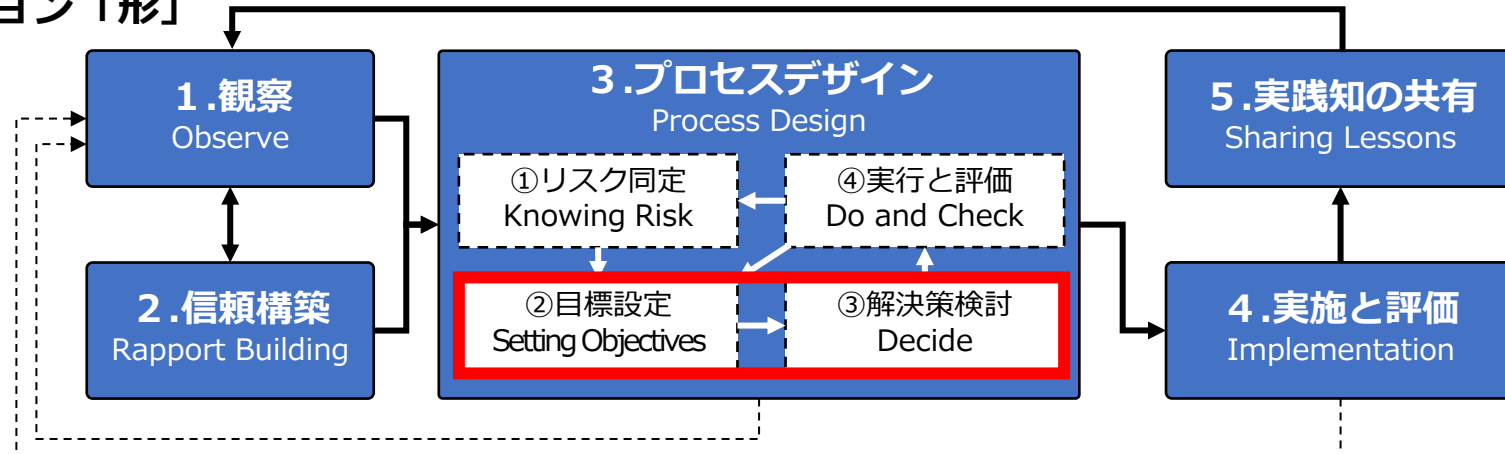
4. 災害時の困ることと解決策を考える

●ねらい

地域で起こりうる災害時において、地域コミュニティが抱える困ることと望ましい解決策（災害時の対応と平時の備え）について、みんなで話し合っ検討できるようになることをねらいとする。

構成	学習目標	学習内容	形式	時間
4-1 災害時に地域で困ることを学ぶ	災害時に地域コミュニティが困ることを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に地域コミュニティが困ることを理解する。 災害時の困ることを具体的に検討する方法について事例から学ぶ。 	座学	20
4-2 困ることに対する解決策を学ぶ	災害時に困ることに対する解決策を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の困ることに対して地域コミュニティに求められる解決策を理解する。 災害時の困ることに対する解決策を具体的に検討する方法について事例から学ぶ。 	座学	20
4-3 演習	災害時に困ることと望ましい解決策を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 地域で起こりうる災害を想定し、災害時に地域コミュニティが困ることと望ましい解決策について考え、グループ・隣同士で話し合う。 	個人演習 グループワーク	40
アンケート等	-	理解度・研修評価アンケート	-	10

地域防災ファシリテーション「形」



形	概略	支援活動の内容（要検討）	
1. 観察 Observe	支援する地域の現状を観察する。	<ul style="list-style-type: none"> プロセスデザインのために事前に行った、関係者へのアンケートやヒアリング、インターネット検索、現地視察等による全般的な情報収集 取り組みの中で得られた地域や住民の状況についての理解や気づき 	
2. 信頼構築 Rapport Building	活動主体と信頼関係を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ファシリテータの能力（地位、知識、経験等）に対する信頼を得る行為（行政によるファシリテータの紹介を含む） ファシリテータの意図（姿勢、目的等）に対する信頼を得る行為（地域の疑問や不満への対応を含む） 住民の取り組みへの合意を形成するための行為（説明会等） 	
3. プロセスデザイン Process Design	地域が主体的に防災に取り組むための手続きと体制を事前に設計する。	<ul style="list-style-type: none"> プロセスデザインの検討において考慮した／影響を及ぼした要素 地域における体制づくりの支援 	
	① リスク同定 Knowing Risk	地域のリスクを理解し共有する。	<ul style="list-style-type: none"> 住民が地域の災害リスクについて理解するための講義や、ハザードマップの確認、過去の被災経験を振り返るための防災まちあるきやワークショップ等の活動
	② 目標設定 Setting Objectives	課題を同定し解決目標を定める。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題を抽出・整理・特定するためのワークショップや、確認できた課題からより詳細な目標（いずれの階層も）を定めるためのワークショップ等の活動
	③ 解決策検討 Decide	必要な解決策を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題に対する解決策や、解決に必要な体制と具体的な計画を検討するワークショップ等の活動
	④ 実行と評価 Do and Check	訓練などを通じて解決策を実行・評価・改善する。	<ul style="list-style-type: none"> 解決策や体制を実行するための訓練や演習、その後の反省会等
4. 実施と評価 Implementation	ファシリテーション実践効果を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> プロセスデザインに沿った各活動の実施後の省察とデザインの見直し 取り組みの手法に対して、住民など取り組みの対象者からの評価の実施（手法評価アンケートや事業報告会での意見交換等） 取り組みの結果として現れた地域の行動変容を把握 	
5. 実践知の共有 Sharing Lessons	得られた知見を共有し新たな気づきを生み出す。	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みの成果や課題を公開（報告書や事例集の公表、学会・フォーラム等での発表、ニュース記事・ブログ記事の掲載等） 取り組みの手法を他地域で展開（他地域への派遣や視察受け入れ等による情報提供・助言等） 	

4-1 災害時に地域で困ることを学ぶ

構成	学習目標	学習内容	形式	時間
4-1 災害時に地域で困ることを学ぶ	災害時に地域コミュニティが困ることを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に地域コミュニティが困ることを理解する。 災害時の困ることを具体的に検討する方法について事例から学ぶ。 	座学	20
4-2 困ることに対する解決策を学ぶ	災害時に困ることに対する解決策を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の困ることに対して地域コミュニティに求められる解決策を理解する。 災害時の困ることに対する解決策を具体的に検討する方法について事例から学ぶ。 	座学	20
4-3 演習	災害時に困ることと望ましい解決策を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 地域で起こりうる災害を想定し、災害時に地域コミュニティが困ることと望ましい解決策について考え、グループ・隣同士で話し合う。 	個人演習 グループワーク	40
アンケート等	-	理解度・研修評価アンケート	-	10

4-1で学ぶこと

- 災害時に地域コミュニティが困ることを学ぶ。

ワークシート 災害時に困ることと解決策について考える

氏名

A. 災害時に困ること	発災直後	3時間まで	半日まで	1日まで	選択

B. 災害時の理想的な対応

C. 平時の備え

<p>●行動、組織</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px;"></div>	<p>●資機材</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px;"></div>
---	---

- 困ること1：災害時に困ることとは
- 困ること2：災害時に困ることを見つけるためには
- 困ること3：災害時の事態の流れを理解する
- 困ること4：発災時の条件により災害時に困ることは変化する
- 困ること5：時間軸で地域の困ることを整理する
- 困ること6：災害時に困ることについてみんなで話し合う
- 困ること7：空間軸で地域の困ることを整理する
- 困ること8：災害時に困ることを現地で確かめる
- 困ること9：災害時に地域で困ることの検討事例
- 困ること10：困ることを解決するため自助・共助・公助で取り組む

困ること1：災害時に困ることとは

- 「災害時に困ること」は地域の社会特性によって様々である。
- 地域コミュニティの視点から「災害時に困ること」を整理し、みんなで解決策を検討する。



自然特性（強さ・頻度）

- ・ 気象災害 → 大雨、大雪、強風、竜巻
- ・ 地象災害 → 地震、津波、洪水
がけ崩れ、土砂災害、土石流
火山噴火など



社会特性（脆弱性・暴露）

- ・ 高齢化 → 避難の遅れ、災害時情報弱者
- ・ 都市集中 → リスク地域の人口増加
- ・ 過疎化 → 共助力の低下
- ・ マンション化 → ライフライン停止の影響大
- ・ 自治会加入率低下 → コミュニティの弱体化



災害の発生しやすさ

- ・ 直接被害 → 地物等の損壊による被害
- ・ 間接被害 → ライフラインの途絶による被害



地域の都市化や高齢化、地域コミュニティの弱体化などにより、地域社会が災害からの影響を受けやすくなっている



地域コミュニティの視点から「災害時に地域で困ること」を整理した上でみんなで解決策を検討

困ること2：災害時に困ることを見つけるためには

- 災害時に地域で困ることについて学ぶ。
- 社会特性を踏まえ、災害シナリオを活用しながらみんなで話し合う。

災害時に困ることとは？



災害時の困る事とは何か？



👉 社会特性を踏まえて考える



災害時に困ることは変化する

👉 発災時の条件やライフラインの被害による



災害時の事態の流れを理解する

👉 災害シナリオの活用



時間軸や空間軸で困ることを整理する

👉 災害シナリオや地図の活用



困る事についてみんなで話し合う

👉 様々な視点から見るのが大事

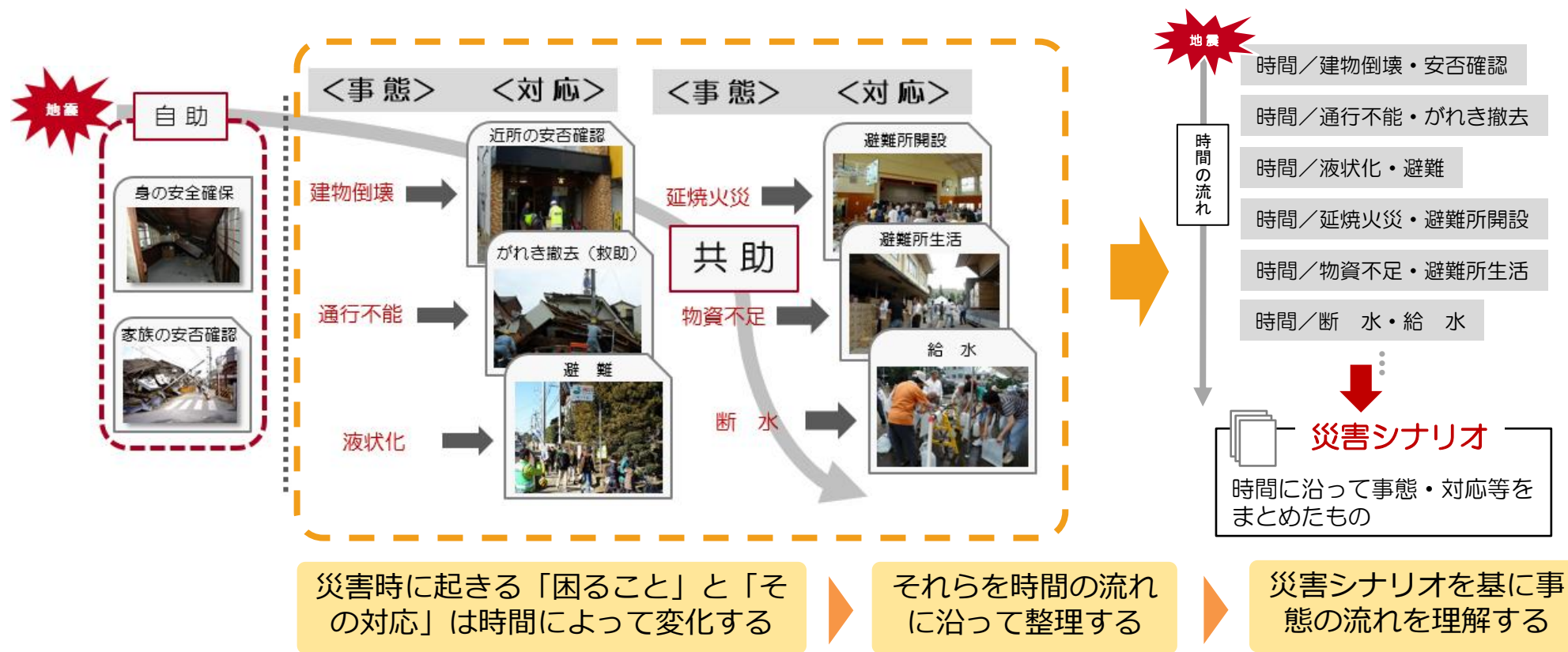


困ることを現地で確かめるには？

👉 まちを歩いて地図に記入

困ること3：災害時の事態の流れを理解する

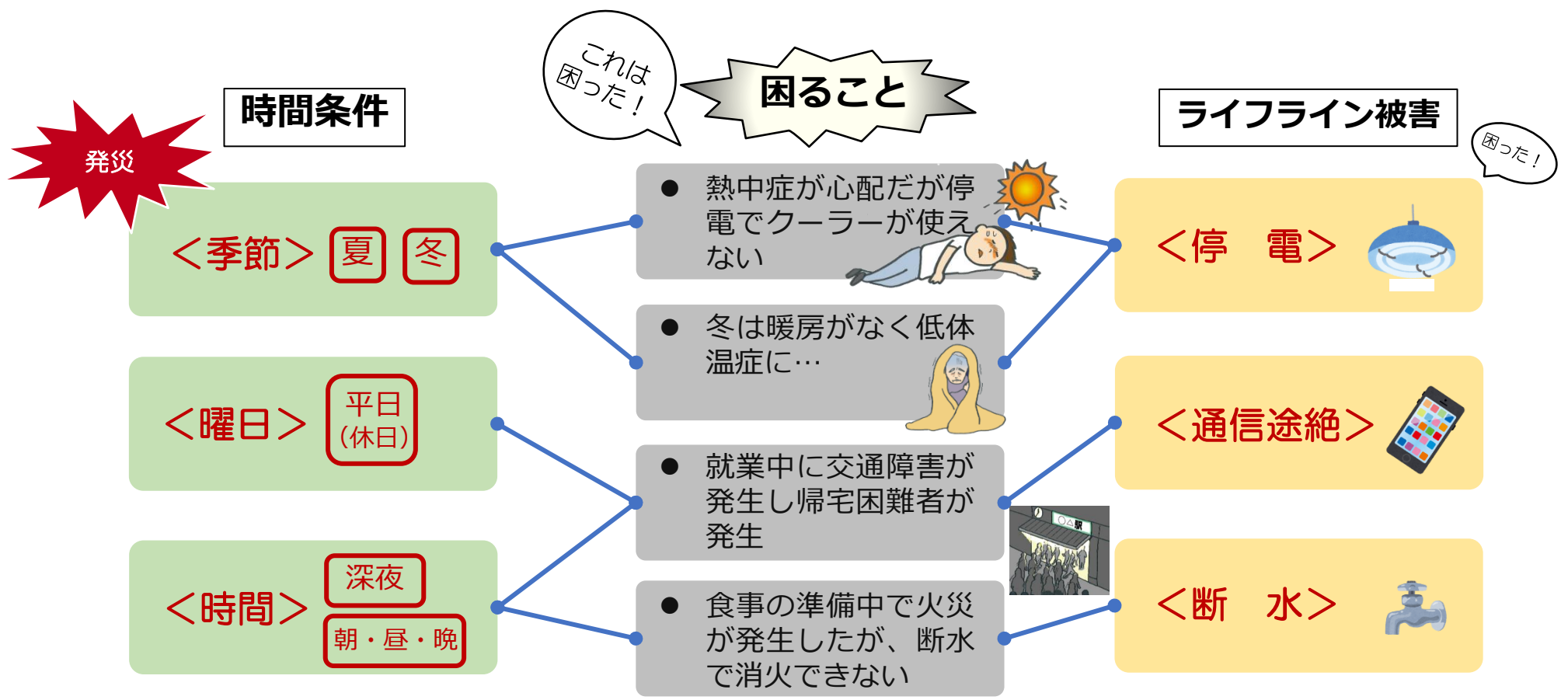
- 災害シナリオ（起きてはならない困る事と対応を時間に沿ってまとめたもの）を設定する。
- 災害シナリオをもとに災害時の事態の流れを理解する。



脆弱性評価の実施に必要な「起きてはならない最悪の事態」をリスクシナリオと言う。災害シナリオは、リスクシナリオにもとづき、想定される被害の様相と、その後の時間経過に伴う災害対応の推移をまとめたもので「被災シナリオや想定シナリオ」とも呼ばれる。

困ること4：発災時の条件により災害時に困ることは変化する

- 発災時の季節・曜日・時間帯によって困ることは変化する。
- ライフライン被害などによって新たな問題が発生することもある。



困ること5：時間軸で地域の困ることを整理する

- 地域の社会特性から災害時にどのような「困ること」が発生するのか考える。
- 災害シナリオに沿って「困ること」を整理する。

災害シナリオ

【発災直後】

- ・ 安否確認不能
- ・ 初期消火困難
- ・ 救助



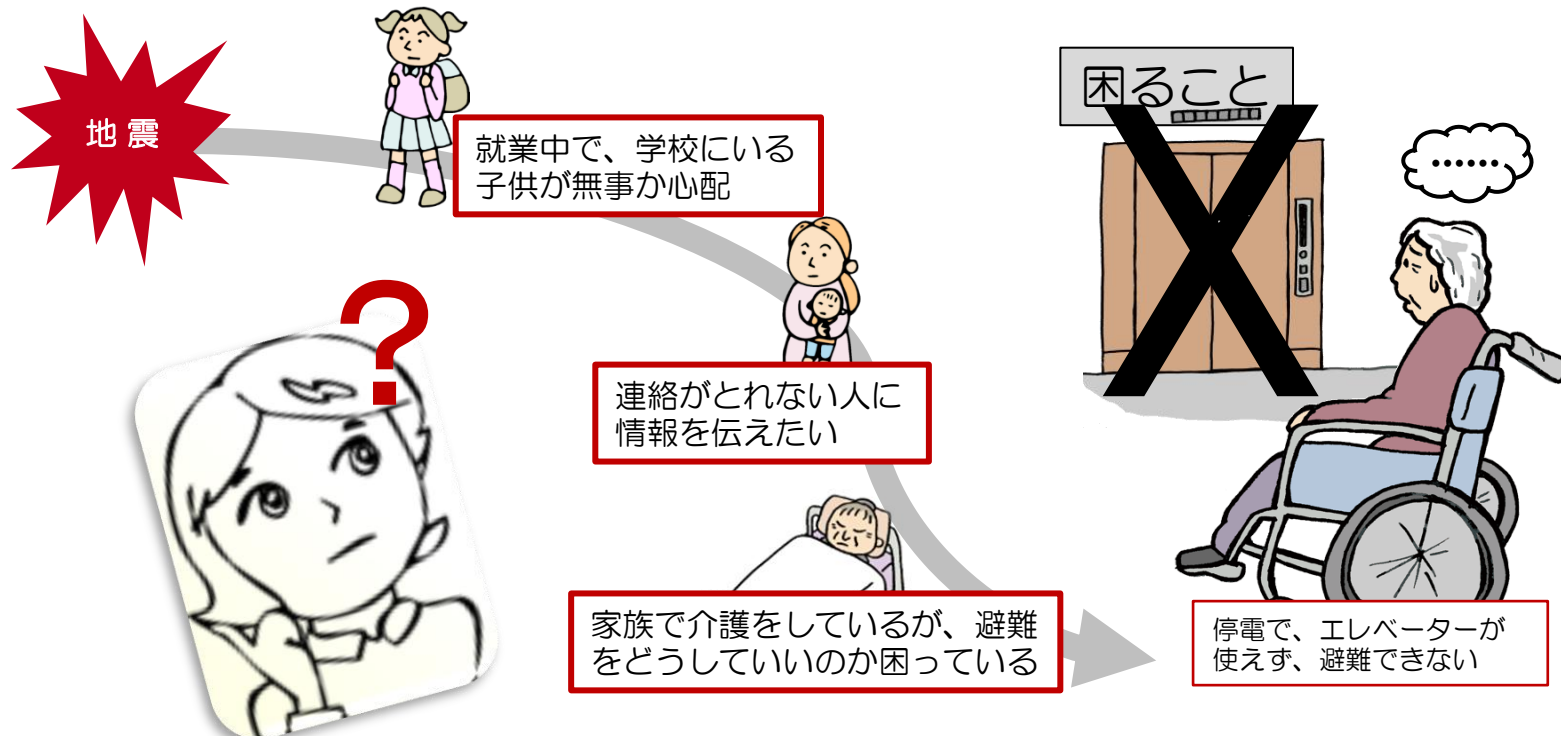
【数時間後】

- ・ 避難
- ・ 帰宅困難
- ・ 情報不足



【数日後】

- ・ 物資不足
- ・ 要配慮者支援
- ・ 在宅避難孤立



社会特性を考えながら災害シナリオに沿って困ることを整理する

困ること6：災害時に困ることについてみんなで話し合う

- 自主防災組織だけでなく地域で活動する様々な団体や地域コミュニティの参加を促す。
- 社会特性を踏まえて多様な視点から災害時に困ることについて話し合う。



年配の方が多く、平日の昼に地震があったら、人手が足りなくなりそうで・・・

高齢の方々は、大雨のとき、早目に自主的に避難できるかしら・・・

私の地区には**高齢者**が多いけど、**避難支援**はできる？



地域は**古い家**が集まって いるけど、**火事の対応**は大丈夫？



友だちが住んでいる**高層マンション**では、**高層階へ食料や物資**を提供できる？



あの商店街は**外国人**が多いけど、**避難誘導**ができる？

災害時の事態と地域の社会特性から困ることについて話し合いましょう

夫の職場の**駅**周辺は企業が多いけど、**帰宅困難者**の対応は大丈夫？



困ること7：空間軸で地域の困ることを整理する

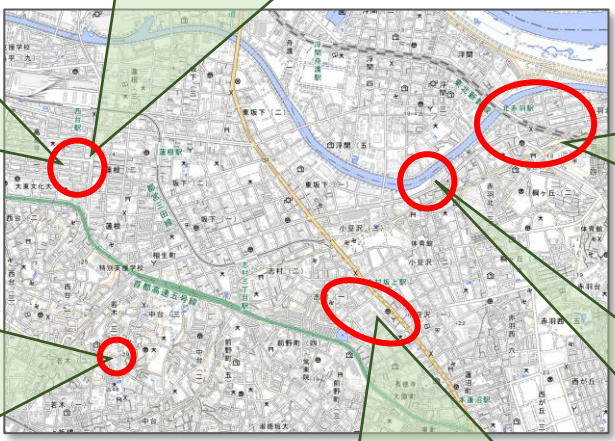
- 困ることがどのような場所で発生するのか考える
- 地図を使って困ることを整理する。

木造住宅密集地域での延焼火災

板橋区ホームページ
<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/machidukuri/chiiki/funen/1058889.html>

地震時のブロック塀の倒壊

困ることが具体的にどこで起こるのか？



洪水での浸水や長期の孤立

高層住宅では大規模地震時のエレベーター停止、家具の転倒、停電・断水など

液状化による家屋、道路等の傾き

交通遮断による救助の遅れなど

困ること8：災害時に困ることを現地で確かめる

- 災害時の困ることについてみんなで話し合った内容を現地で確かめる。
- 確認した結果や対策のアイデアを「地域問題マップ」にまとめる。



まちを歩いて確認



地図に記入

多様な視点、コミュニティで話し合った内容



災害時の困ることについて、みんなで話し合った内容を実際に地域を歩いて確認しよう

困ることを地図にまとめ「地域問題マップ」をつくらう



困ること9：災害時に地域で困ることの検討事例

■ 高齢団地における要配慮者支援 (千葉県佐倉市中志津自治会6区地域支援部会)

社会特性・困りごと

- ✓ 約1,300名が居住する住宅団地（内約400人が65歳以上）
- ✓ 少子高齢化が進んでいる状況において、災害時要配慮者（高齢者）の避難支援をどうするのか

困ることの検討方法

- ✓ 中志津自治会6区の全区民にアンケートを実施し、災害時の支援を希望する住民を把握
- ✓ 避難行動要支援者へ戸別訪問を行い、心身等の状況を把握し支援方法の説明等を実施
- ✓ 支援希望者の向こう三軒両隣を基本に、支援者になってくれるよう依頼
- ✓ 高齢者等の避難誘導訓練を実施



担架による避難支援



健康状態の確認

■ マンションにおける在宅避難と帰宅困難者対策 (熊本市西区春日校区)

社会特性・困りごと

- ✓ 高層マンションや商業施設等が立ち並び、駅周辺の再開発が進められるなど街並みが大きく変化
- ✓ マンション等の集合住宅における在宅避難者の把握や支援が必要
- ✓ 災害時に想定される熊本駅周辺の帰宅困難者対策

困ることの検討方法

- ✓ 「地域の防災士」「消防団」「校区の団体」など有志により「春日防災士の会」を設立し、各種イベント・研修・避難所における運営の中核とした
- ✓ マンション管理組合等への協力要請など活動の連携協力体制の確立
- ✓ 熊本駅帰宅困難者協議会との連携に向けた、会議・連携訓練等の実施



防災士会による学習会

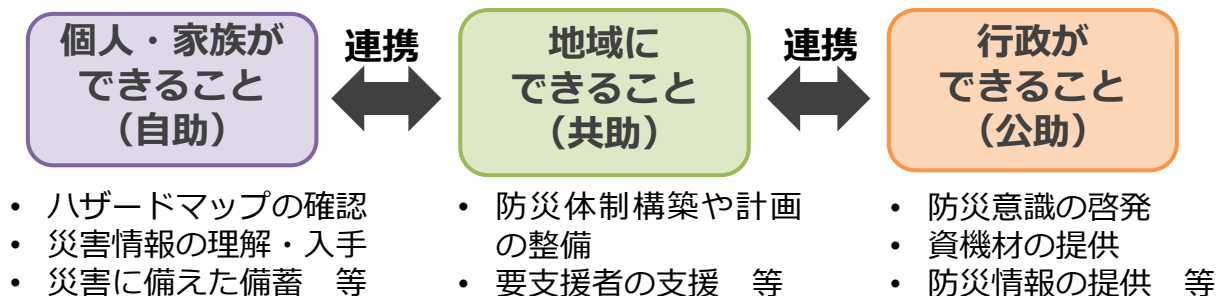
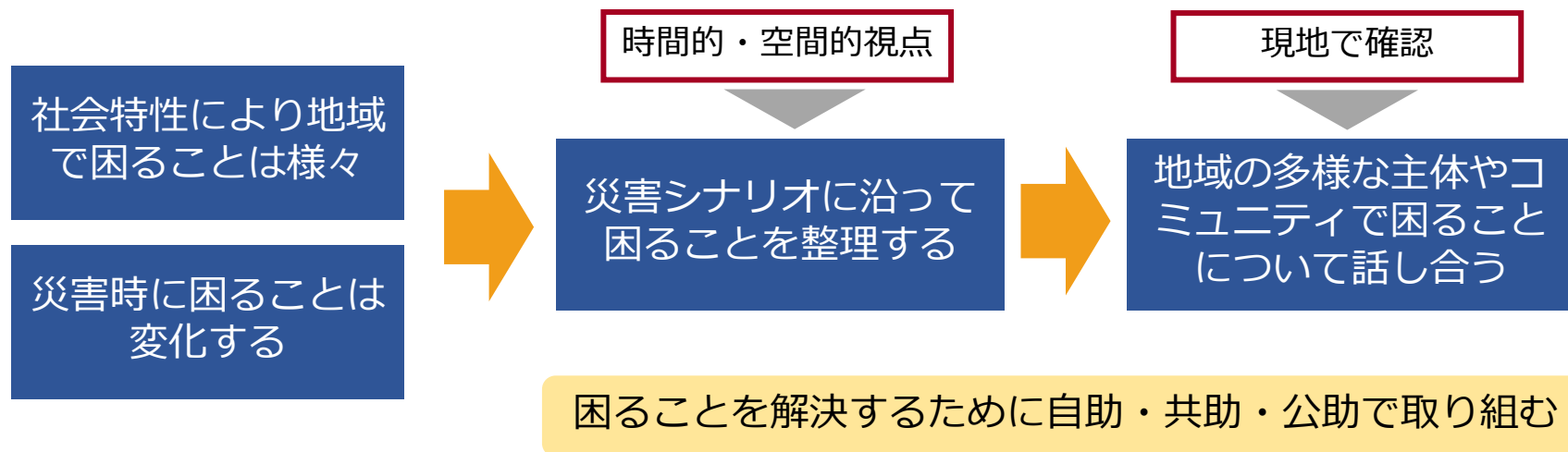


住民参加型避難訓練

困ること10：困ることを解決するため自助・共助・公助で取り組む

- 災害時に地域コミュニティが困ることを学ぶための流れを確認する。
- 困ることを解決するためには自助・共助・公助で取り組むことが重要。

災害時に困ることを学ぶための流れ



4-1で学んだこと

■ 災害時に地域コミュニティが困ることを学ぶ。

ワークシート 災害時に困ることと解決策について考える

氏名

	発災直後	3時間まで	半日まで	1日まで	選択
A. 災害時に困ること	建物倒壊による 生き埋め	高齢者世帯や単身世帯 で救助が遅れる	重機なしの人力救助の 限界	道路閉塞・通行不能 による救助隊の遅れ	
	要配慮者の避難 支援	名簿未整備で要配慮者 の所在が分からない	通信遮断で家族・近 隣と連絡がとれない	暖房停止により高齢 者・乳幼児の健康悪化	○
	火災の発生	初期消火の要員不足	断水により消火栓が 使えない	広域に延焼拡大	

B. 災害時の理想的な対応

C. 平時の備え

<p>●行動、組織</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px;"></div>	<p>●資機材</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px;"></div>
---	---

- 困ること1：災害時に困ることとは
- 困ること2：災害時に困ることを見つけるためには
- 困ること3：災害時の事態の流れを理解する
- 困ること4：発災時の条件により災害時に困ることは変化する
- 困ること5：時間軸で地域の困ることを整理する
- 困ること6：災害時に困ることについてみんなで話し合う
- 困ること7：空間軸で地域の困ることを整理する
- 困ること8：災害時に困ることを現地で確かめる
- 困ること9：災害時に地域で困ることの検討事例
- 困ること10：困ることを解決するため自助・共助・公助で取り組む

4-2 困ることに対する解決策を学ぶ

構成	学習目標	学習内容	形式	時間
4-1 災害時に地域で困ることを学ぶ	災害時に地域コミュニティが困ることを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に地域コミュニティが困ることを理解する。 災害時の困ることを具体的に検討する方法について事例から学ぶ。 	座学	20
4-2 困ることに対する解決策を学ぶ	災害時に困ることに対する解決策を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の困ることに対して地域コミュニティに求められる解決策を理解する。 災害時の困ることに対する解決策を具体的に検討する方法について事例から学ぶ。 	座学	20
4-3 演習	災害時に困ることと望ましい解決策を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 地域で起こりうる災害を想定し、災害時に地域コミュニティが困ることと望ましい解決策について考え、グループ・隣同士で話し合う。 	個人演習 グループワーク	40
アンケート等	-	理解度・研修評価アンケート	-	10

4-2 で学ぶこと

■ 災害時に困ることに対する解決策を学ぶ。

ワークシート 災害時に困ることと解決策について考える

氏名

	発災直後	3時間まで	半日まで	1日まで	選択
A. 災害時に困ること	建物倒壊による生き埋め	高齢者世帯や単身世帯で救助が遅れる	重機なしの人力救助の限界	道路閉塞・通行不能による救助隊の遅れ	
	要配慮者の避難支援	名簿未整備で要配慮者の所在が分からない	通信遮断で家族・近隣と連絡がとれない	暖房停止により高齢者・乳幼児の健康悪化	○
	火災の発生	初期消火の要員不足	断水により消火栓が使えない	広域に延焼拡大	

B. 災害時の理想的な対応	C. 平時の備え	
	●行動、組織	●資機材

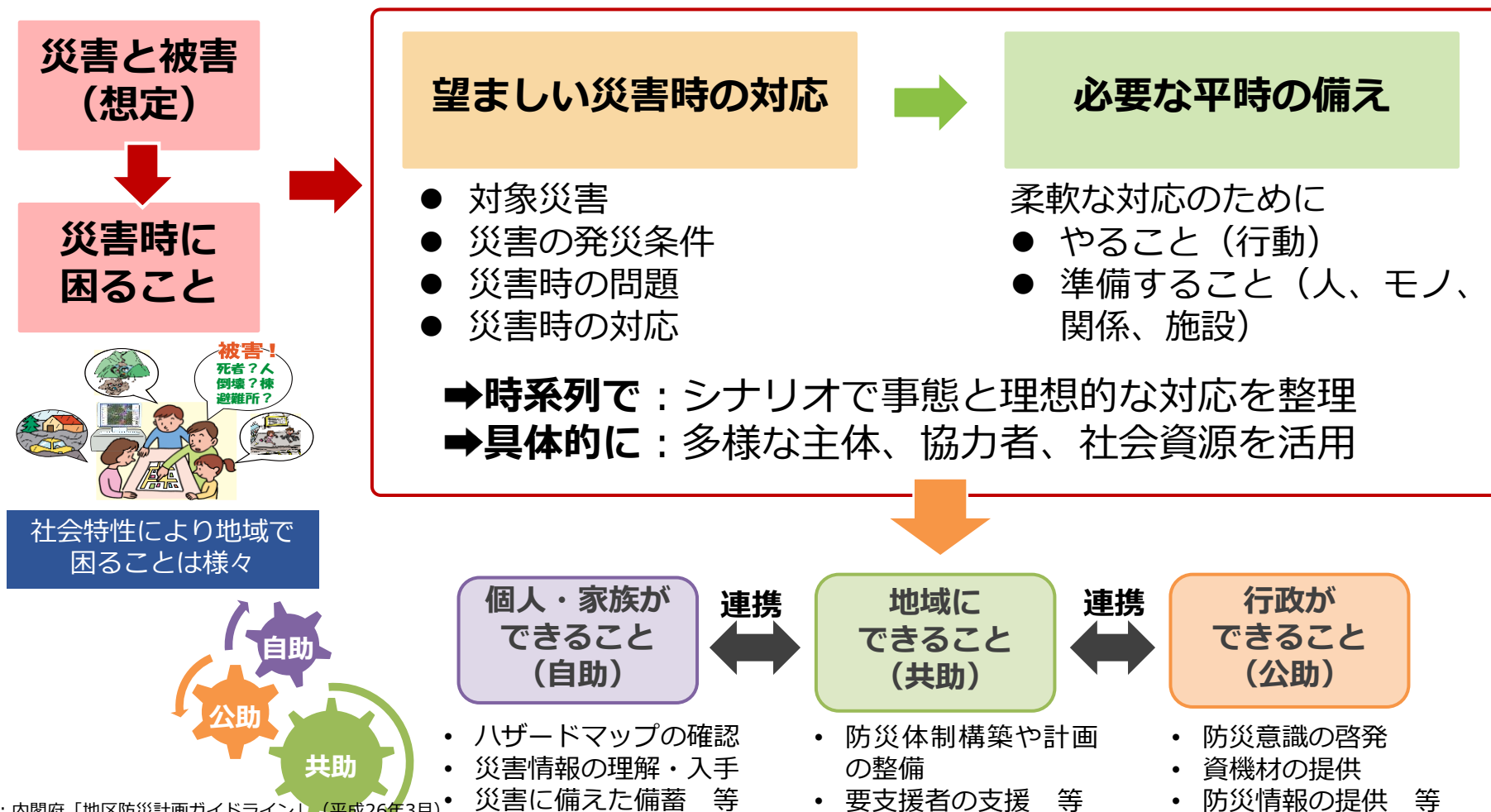
解決策7：対応をシナリオ（時間軸）で考える
解決策8：対応を空間軸で考える

解決策6：解決に役立つもの

解決策1：災害時に困ることを解決する
解決策2：災害時に困ることを解決するには
解決策3：災害時の対応と平時の備え（地震災害の例）
解決策4：災害時の対応と平時の備え（豪雨災害の例）
解決策5：災害時の対応と平時の備え
解決策9：地域で困ることと解決策の事例
解決策10：災害時の対応と平時の備えのまとめ

解決策1：災害時に困ることを解決する

- 災害時の困ることを解決するためには地域で助け合う（共助）ことが重要である。
- 災害時の望ましい対応とそれを実現するために必要な平時の備えについて学ぶ。



※出典：内閣府「地区防災計画ガイドライン」（平成26年3月）
<https://www.bousai.go.jp/kyoiku/pdf/guideline.pdf>

解決策2：災害時に困ることを解決するには

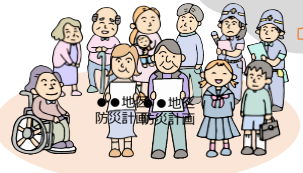
- 災害時の困ることをどう解決するかを学ぶ。
- 地域の社会資源を活用しながら災害シナリオに沿って考える。



困る事の解決策を考える

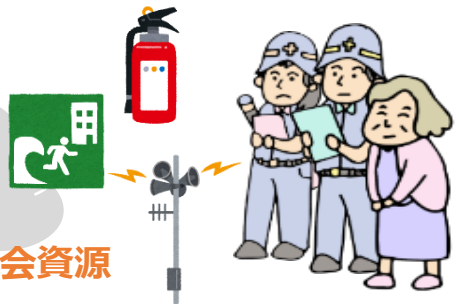
災害時の対応と
平時の備え

☞ **共助を基本に考える**



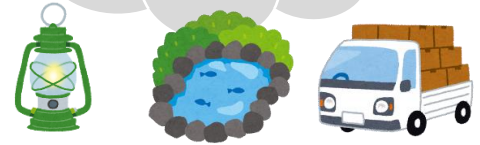
地域資源について
理解する

☞ **防災資源と社会資源**



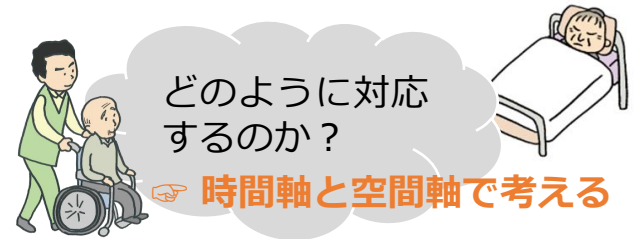
困る事の解決策
を考える

☞ **地域の社会資源を活用**



どのように対応
するのか？

☞ **時間軸と空間軸で考える**



対応と備えの流れ
を理解する

☞ **シナリオで考える**



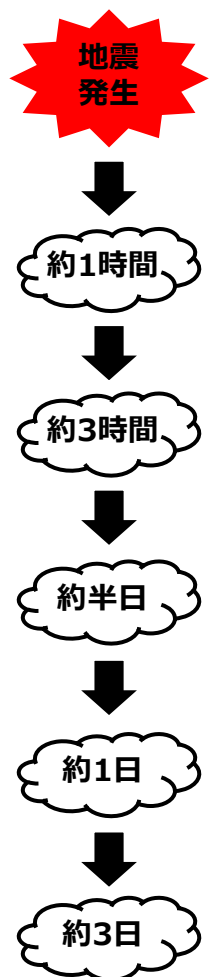
対応と備えをど
のようにをまと
めるか？

☞ **地区防災計画など**



解決策3：災害時の対応と平時の備え（地震災害の例）

- 地域防災基本計画などでは発災から72時間、自助共助を中心にした災害対応を求めている。
- 上記の災害対応を実現するためには平時から地域での連携と地域資源を活用した備えが必要である。



No.	テーマ	災害時の対応	平時の備え・訓練
-	身の安全	身を守る、出口の確保	家具固定、玄関整理、 <u>江ノ川外訓練</u>
1	安否確認	家族・近隣の安否確認	方法の検討、手段の確保、 <u>安否確認訓練</u>
2	消火活動	出火元の確認、消火活動	人材の確保、機材の点検、 <u>消火訓練</u>
3	被害確認	被害状況の把握、報告	方法の検討、手段の確保、 <u>情報伝達訓練</u>
4	救出・救護	負傷者等の救出、救護	人材の確保、機材の点検、 <u>AED訓練</u>
5	避難行動	住民等の避難・誘導	避難所・路の確認、避難方法の検討、 <u>避難訓練</u>
6	福祉避難	要配慮者の避難支援	要配慮者・支援方法・福祉避難所の検討、 <u>避難訓練</u>
7	避難生活	避難所の運営、生活の維持	避難所運営組織化、 <u>避難所運営訓練</u>
8	給食・給水	給食・給水の実施	資源の確保・点検、 <u>炊出し・給水訓練</u>
9	物資配分	必要な物資の把握・調達	資源の確保・点検、 <u>物資仕分け・配膳訓練</u>
10	二次被害防止	二次災害の軽減活動	危険箇所の点検・改修、 <u>防災まちあるき</u>
11	防犯・巡回	防火・防犯の見回り	自警団や警察等との連絡体制づくり
12	受援調整	ボランティア組織等と調整	支援組織やボランティア組織と連携

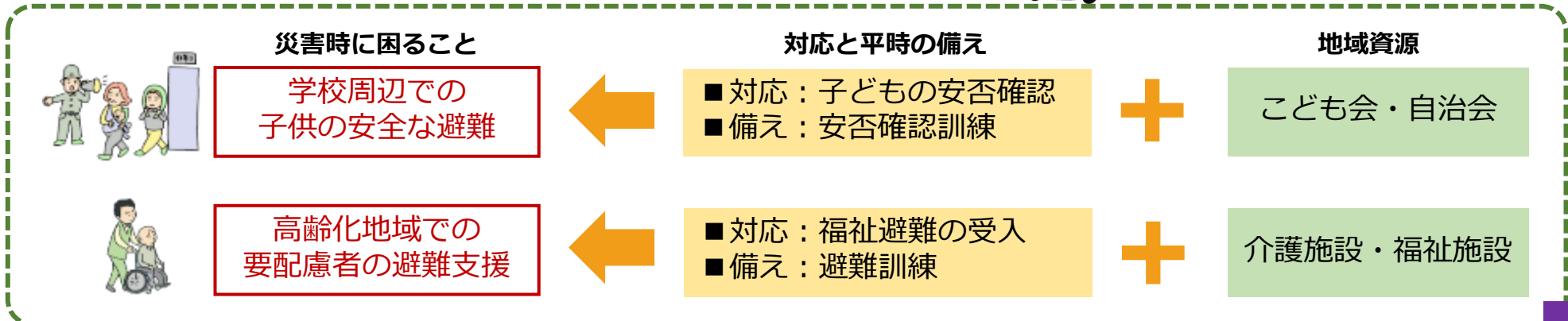
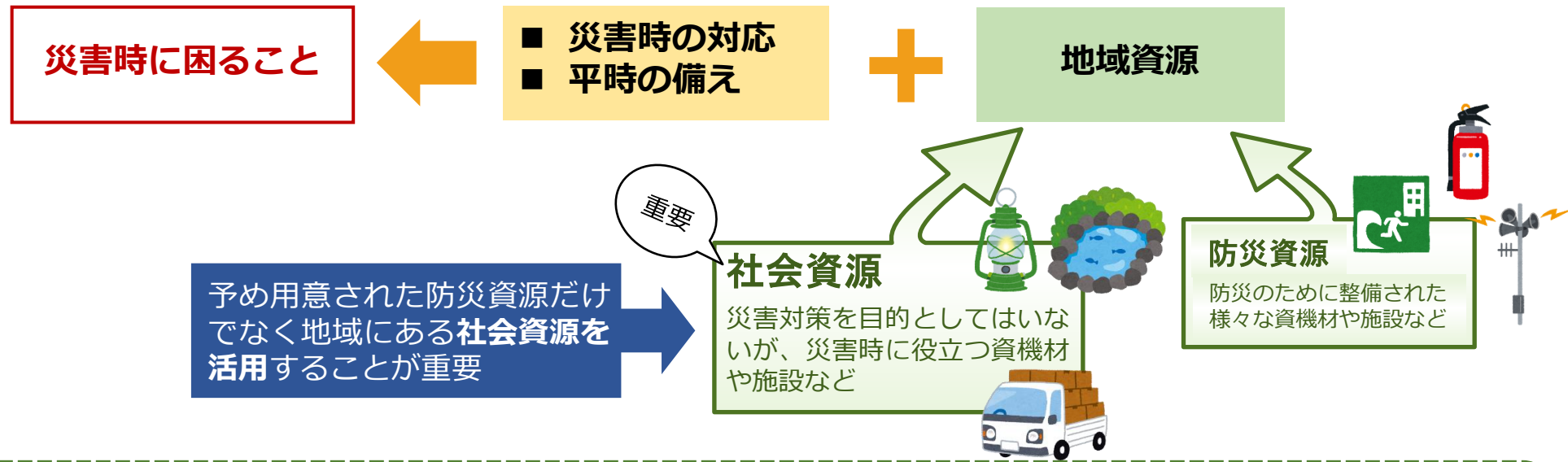
解決策4：災害時の対応と平時の備え（豪雨災害の例）

- 地域防災基本計画などでは発災から72時間、自助共助を中心とした災害対応を求めている。
- 上記の災害対応を実現するためには平時から地域での連携と地域資源を活用した備えが必要である。

	No.	テーマ	災害時の対応	平時の備え・訓練
前日	1	情報収集	気象情報の収集・伝達	気象情報・避難情報の理解、 情報伝達訓練
約3時間前	2	水防活動	浸水の未然防止活動	危険・安全個所の確認、土のう点検、水防団と連携
	3	安否確認	家族・近隣の安否確認	方法の検討、手段の確保、 安否確認訓練
	4	避難行動	住民等の避難・誘導	避難所・路の確認、避難方法の検討、 避難訓練
浸水発生	5	福祉避難	要支援者の避難支援	要支援者・支援者・支援方法の検討、 避難訓練
	6	被害確認	被害状況の把握、報告	方法の検討、手段の確保、 情報伝達訓練
約半日	7	避難生活	避難所の運営、生活の維持	避難所運営組織化、 避難所運営訓練
	8	給食・給水	給食・給水の実施	資源の確保・点検、 炊出し・給水訓練
	9	物資配分	必要な物資の把握・調達	資源の確保・点検、 物資仕分け・配膳訓練
約1日	10	二次被害防止	二次災害の軽減活動	危険箇所の点検・改修、 防災まちあるき
	11	防犯・巡回	防火・防犯の見廻り	自警団や警察等との連絡体制づくり
約3日	12	受援調整	ボランティア組織等と調整	支援組織やボランティア組織と連携

解決策5：災害時の対応と平時の備え（地域資源の活用）

- 社会資源を活かした災害時の対応と、そのための平時の備えについて理解する。
- 災害時の対応のためには地域に存在する社会資源の活用が重要である。



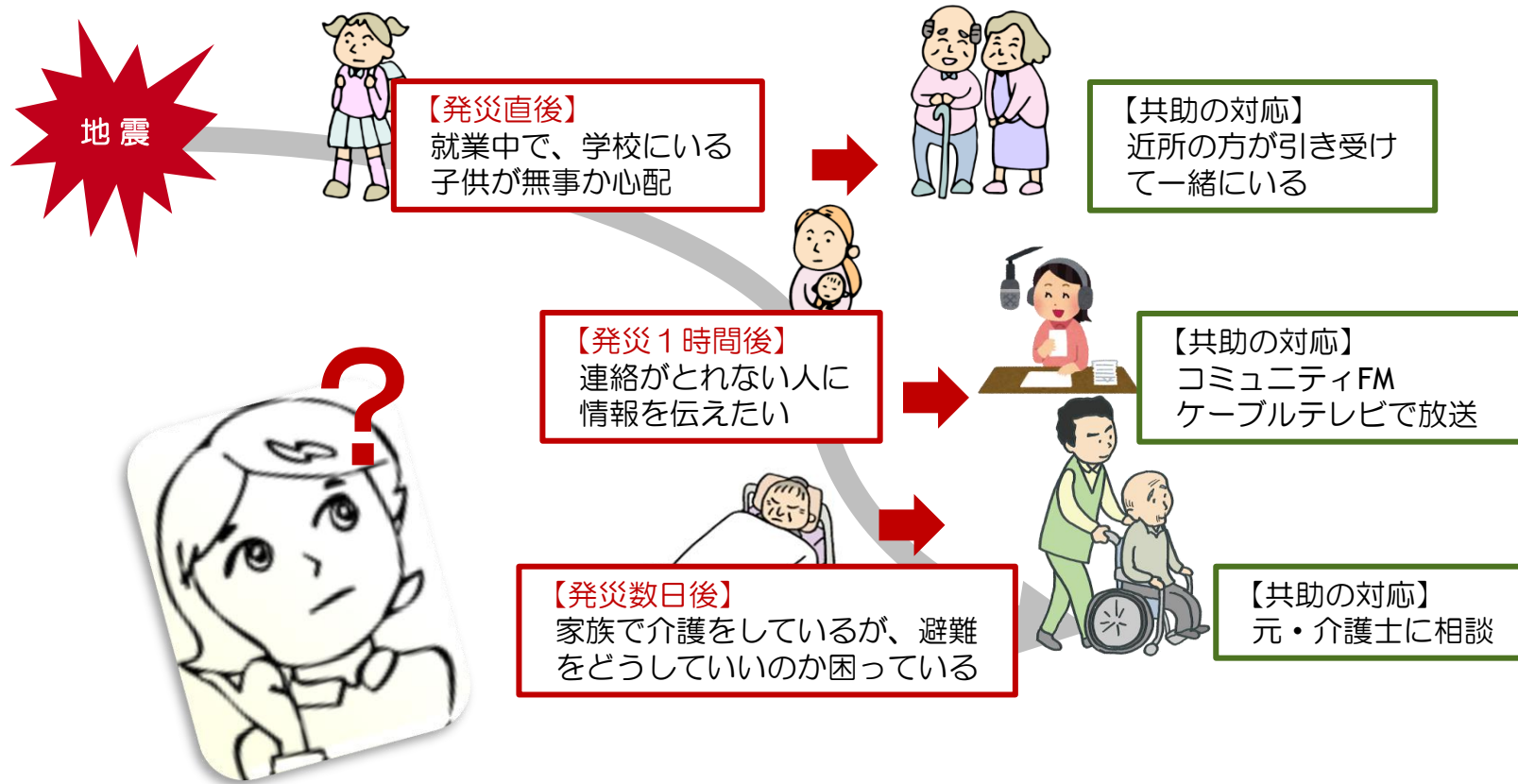
解決策6：解決に役立つもの

- 解決に役立つもの（防災資源・社会資源）について理解する。
- 他の地域との協力について考える。



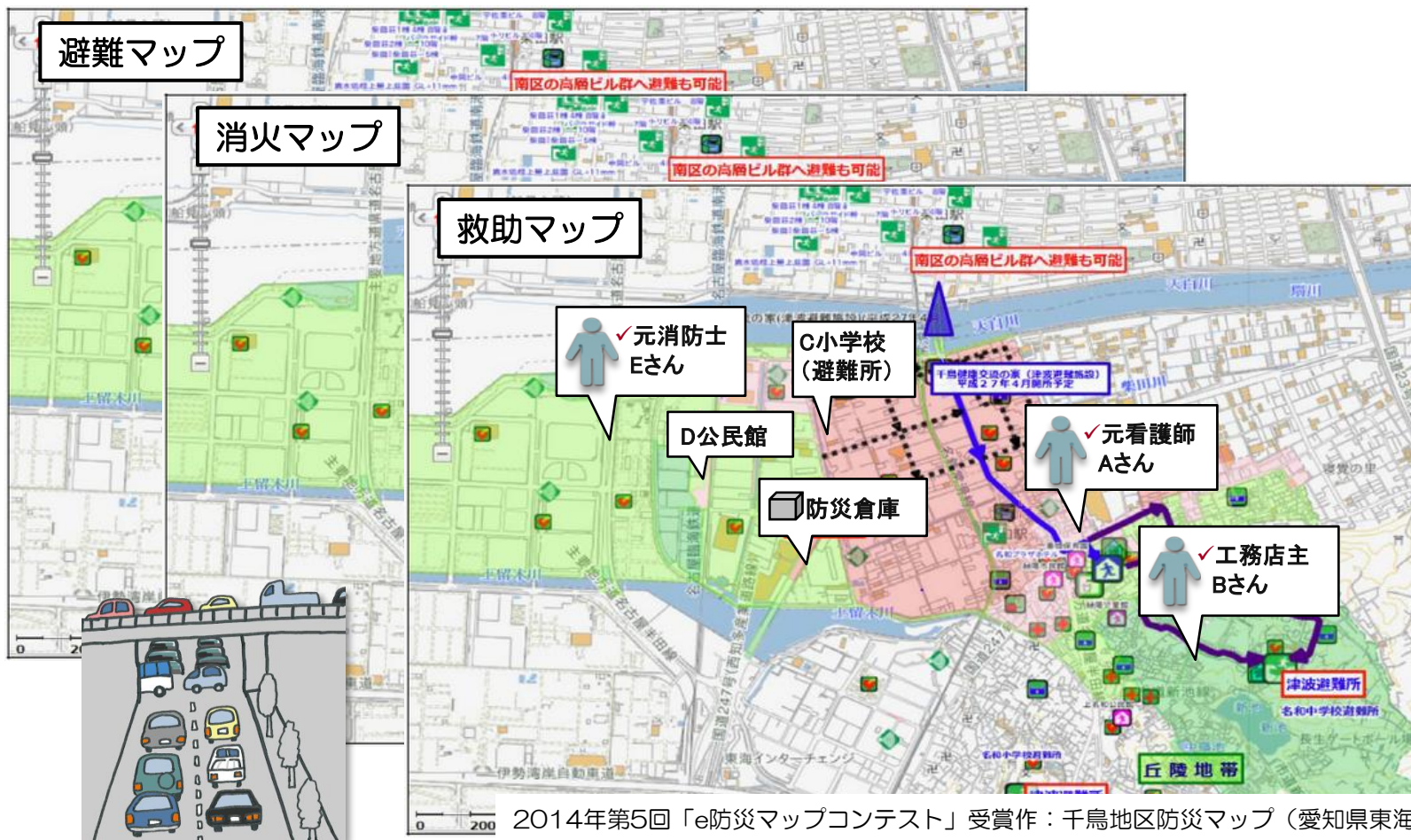
解決策7：対応をシナリオ（時間軸）で考える

- 事態の流れに沿って、災害時の対応をシナリオで考える。
- どのような「人」「もの」「施設」が対応可能かを確認する。



解決策8：対応を空間軸で考える

- 「人との・施設」「対応（行動を面と線で表す）」を書き込むと『防災マップ』になる。
- 災害別・課題ごとに防災マップを作る。



2014年第5回「e防災マップコンテスト」受賞作：千鳥地区防災マップ（愛知県東海市）に加工

解決策9：地域で困ることと解決策の事例

■ 避難所運営と民間企業との連携 (熊本市東区西原校区)

社会特性・困りごと

- ✓ 熊本地震の際には、避難所である小中学校は避難者で溢れたため、多数の方がグラウンドや公園などの広場での車中泊を余儀なくされた
- ✓ 布田川断層・日奈久断層による「地震」、白川、藻器堀川による「洪水」の災害リスクが高い

解決への取り組み

- ✓ 民間企業との連携
校区内のパチンコ店と災害時の車中泊スペースとして、駐車場を使用させてもらえるよう地域と民間企業主体の災害時協定を締結にむけて活動。
- ✓ 多様な主体による地区防災計画の策定
校区の役員、企業や福祉施設、東海大学、防災士などが集まり、ワークショップを経て地域主体で地区防災計画を完成させた。



ワークショップの実施



地区防災計画

■ 木造住宅密集地域での取り組み (東京都葛飾区四つ木地区)

社会特性・困りごと

- ✓ 東京23区の北東に位置し、荒川左岸に広がる四つ木地区は「ゼロメートル地帯」と言われ、過去幾度となく水害に見舞われてきた
- ✓ 高度成長期には、過密化・住宅難・交通難・公害等の問題を受けて、急激に宅地化が進み都市基盤が未整備の市街地（木造密集地）が広がっている

解決への取り組み

- ✓ 住民組織「ほっとマイタウン四つ木」の発足
木造住宅、商店等が混在する地域の不燃化や狭あい道路の改善により、市街地の安全性の向上と商店街の活性化を図る。
- ✓ 大規模水害等についての地域連携
①水害に関する専門家の招聘、②自分の地区で起こりうる災害を把握した上で地域での取り組みについての意見交換会の開催、③「それぞれでできること」を実践する水防訓練の実施など。



狭い道路の木造密集地域

解決策10：災害時の対応と平時の備えのまとめ

- 災害時に地域で困ることに対して、その対応と平時の備えについて確認する。
- 対応と平時の備えを地区防災計画などに集約する。

災害時に
困ること

望ましい災害時の対応

必要な平時の備え

- ➡時系列で：シナリオで事態と理想的な対応を整理
- ➡具体的に：多様な主体、協力者、社会資源を活用

地区防災計画としてまとめる



防災活動により検討した内容

防災活動より作成したマップ

ところが……

一生懸命に、真面目にやっても

- マンネリ化
- 主体の高齢化
- 低い参加率



もっと
真剣に、楽しく！

- 楽しいイベント
- 子どもの参加
- 情報・ツール活用



4-2 で学んだこと

■ 災害時に困ることに対する解決策を学ぶ。

ワークシート 災害時に困ることと解決策について考える

氏名

	発災直後	3時間まで	半日まで	1日まで	選択
A. 災害時に困ること	建物倒壊による生き埋め	高齢者世帯や単身世帯で救助が遅れる	重機なしの人力救助の限界	道路閉塞・通行不能による救助隊の遅れ	
	要配慮者の避難支援	名簿未整備で要配慮者の所在が分からない	通信遮断で家族・近隣と連絡がとれない	暖房停止により高齢者・乳幼児の健康悪化	○
	火災の発生	初期消火の要員不足	断水により消火栓が使えない	広域に延焼拡大	

B. 災害時の理想的な対応

- 発災直後は、事前に把握している要配慮者宅の安否確認を行う。
- 安否確認班と搬送班など、役割分担が明確になっている。
- 安全な場所へ一時避難した上で、毛布や温かい場所を確保する。
- 水分確保や、服薬確認、福祉避難所への移送判断を行う。
- 家族との連絡支援、在宅避難者の巡回確認、行政との情報共有などを行う

C. 平時の備え

●行動、組織

- 自治会やマンション管理組合などで名簿整備
- 「支援が必要かどうか」の本人確認
- 定期的な名簿更新を行う
- 安否確認や搬送などの役割分担の明確化
- 防災訓練や要配慮者宅訪問、などで日頃から関係づくり
- 福祉関係者との連携

●資機材

- 階段用担架や折りたたみ車いすなどの用意
- アルミブランケット、毛布、使い捨てカイロなどの防寒保温資材の用意
- 小型発電機やポータブル電源などの電源確保
- 救急セットや体温計、血圧計などの医療関連用品の準備

解決策 7 : 対応をシナリオ (時間軸) で考える
解決策 8 : 対応を空間軸で考える

解決策 6 : 解決に役立つもの

- 解決策 1 : 災害時に困ることを解決する
解決策 2 : 災害時に困ることを解決するには
解決策 3 : 災害時の対応と平時の備え (地震災害の例)
解決策 4 : 災害時の対応と平時の備え (豪雨災害の例)
解決策 5 : 災害時の対応と平時の備え
解決策 9 : 地域で困ることと解決策の事例
解決策 10 : 災害時の対応と平時の備えのまとめ

4-3 演習

構成	学習目標	学習内容	形式	時間
4-1 災害時に地域で困ることを学ぶ	災害時に地域コミュニティが困ることを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に地域コミュニティが困ることを理解する。 災害時の困ることを具体的に検討する方法について事例から学ぶ。 	座学	20
4-2 困ることに対する解決策を学ぶ	災害時に困ることに対する解決策を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の困ることに対して地域コミュニティに求められる解決策を理解する。 災害時の困ることに対する解決策を具体的に検討する方法について事例から学ぶ。 	座学	20
4-3 演習	災害時に困ることと望ましい解決策を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 地域で起こりうる災害を想定し、災害時に地域コミュニティが困ることと望ましい解決策について考え、グループ・隣同士で話し合う。 	個人演習 グループワーク	40
アンケート等	-	理解度・研修評価アンケート	-	10

演習 1 : 演習の目的

- 地域で災害時に困ることを想定し、望ましい解決策について考える。
- 解決策について参加者で議論する。

本演習で身につけたいこと

- 地域で災害時に困ることを見出す力
- 困ることに対して望まし解決策（対応と平時の備え）を検討する力
- ワークショップなどで議論し参加者間で共有する力



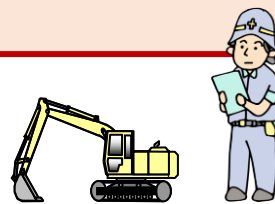
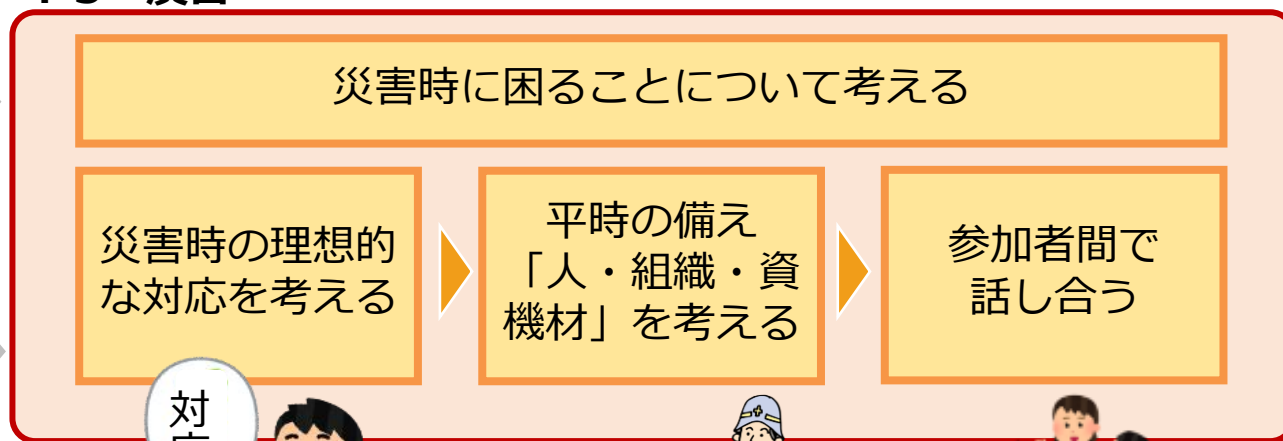
4-1

災害時に地域で困ることを学ぶ

4-2

困ることに対する解決策を学ぶ

4-3 演習



演習 2 : 演習の手順

- 次の発災条件のもと災害が発生したと仮定して、解決策をワークシートに記入する。
- 冬の平日、夕方の18時に震度6強の地震発生。古い建物やブロック塀は倒壊、木造密集地域で火災が発生、地震発生から数時間後に電気・上下水道・ガス・通信など全てのライフラインが停止。

ワークシート 災害時に困ることと解決策について考える

氏名

A. 災害時に困ること	発災直後	3時間まで	半日まで	1日まで	選択

A

災害時に困ることを3つ挙げ、それぞれ「発災直後」「3時間まで」「半日まで」「1日まで」に分けて記入

解決したい困ることを一つ選択し○をつける

B. 災害時の理想的な対応

C. 平時の備え

●行動、組織

●資機材

グループで話し合う



B

選択した「解決したい困ること」に対して、災害時に理想的だと思われる対応を記入

C

災害時の対応を円滑に進めるために必要な、平時の備え（人の行動・組織）を記入

C

災害時の対応を円滑に進めるために必要な、平時の備え（資機材）を記入

氏名

	発災直後	3時間まで	半日まで	1日まで	選択
A. 災害時に困ること	建物倒壊による 生き埋め	高齢者世帯や単身世帯 で救助が遅れる	重機なしの人力救助の 限界	道路閉塞・通行不能 による救助隊の遅れ	
	要配慮者の避難 支援	名簿未整備で要配慮者 の所在が分からない	通信遮断で家族・近 隣と連絡がとれない	暖房停止により高齢 者・乳幼児の健康悪化	○
	火災の発生	初期消火の要員不足	断水により消火栓が 使えない	広域に延焼拡大	

B. 災害時の理想的な対応

- 発災直後は、事前に把握している要配慮者宅の安否確認を行う。
- 安否確認班と搬送班など、役割分担が明確になっている。
- 安全な場所へ一時避難した上で、毛布や温かい場所を確保する。
- 水分確保や、服薬確認、福祉避難所への移送判断を行う。
- 家族との連絡支援、在宅避難者の巡回確認、行政との情報共有などを行う

C. 平時の備え

- 行動、組織
 - 自治会やマンション管理組合などで名簿整備
 - 「支援が必要かどうか」の本人確認
 - 定期的な名簿更新を行う
 - 安否確認や搬送などの役割分担の明確化
 - 防災訓練や要配慮者宅訪問、などで日頃から関係づくり
 - 福祉関係者との連携
- 資機材
 - 階段用担架や折りたたみ車いすなどの用意
 - アルミブランケット、毛布、使い捨てカイロなどの防寒保温資材の用意
 - 小型発電機やポータブル電源などの電源確保
 - 救急セットや体温計、血圧計などの医療関連用品の準備